

# 広報を考えるのが楽しくなりました

## ボランティア団体の広報力を 高めるための基礎講座

令和7年8月28日～9月11日(全3回)  
講座実施団体:認定特定非営利活動法人森ノオト

スキルがない、お金がない、担当する人がいない...NPO活動や地域活動団体にありがちな広報の課題に取り組むための基礎講座です。解決へのヒントは「なぜ、なんのための広報か」。団体のビジョン・ミッションを確認し、内側と外側の声の両方に耳をすませて発信することを学びます。講座を修了し「苦手意識のあった広報を考えるのが楽しくなりました」と話す「神奈川区地域子育て支援拠点かなーちえ」のお二人に話を伺いました。

## 他の団体の活動も知り刺激に

—講座を申し込んだ経緯を教えてください

**大室鎮花さん** かなーちえのホームページを担当していることもあり、施設長や広報担当から「受けてみたら」と紹介されました。講座を担当する森ノオトさんはホームページなどがとてもすばらしいので、その運用の話も聞きたいと思いました。

**山本有希さん** かなーちえは拠点の親子のひろばだけでなく、遠くて来られない方のために出前に行ったりもします。そのチラシを作ったり、Instagramで発信するのですが、どうも苦手意識がありました。そんな中、この講座の告知があったので自分から手を挙げて参加しました。

—実際に受けてみてどうでしたか？

**山本** 3回ともかながわコミュニティカレッジ講義室での対面講座で、説明を聞いてワークシートに取り組んだり発表したりしました。かなーちえに講師を呼んで研修を受けることがあるのですが、今回は外で受けることの良さを実感しました。様々な方がいて他の団体の活動を知って刺激を受けました。また毎回別の方が隣の席になるようになってアイスブレイクや休憩時間などに話し込んだり、貴重な時間でした。ワークシートは私は書くうちにどんどんはまってしまいました。事業はもちろん、自分たちが目指す姿って何だろうと整理できたこともすごく大きかったです。

## 神奈川区地域子育て支援拠点 かなーちえ スタッフ



やまもと ゆうき

おおむろ しずか

## 山本有希さん 大室鎮花さん

地域とともに子育て・子育てを応援する「かなーちえ」。中堅スタッフの山本さんはイベントなどでチラシやSNSなどに取り組む機会も多いとのこと。大室さんは2年弱ですが、パソコンスキルが高いことを見込まれてスカウトされ、現在ホームページの改善に取り組んでいるそうです。

**大室** 初回のワークシートには団体のビジョンやミッションをまとめました。普段から話し合いを密にしているので、これ以外書きようがないって感じで。2人別々に書いたのに言葉は違っても同じような内容でした。

**山本** 私は最初、チラシ作りなどの技術的なことを学べるのかなと思って受講しました。でも森ノオトさんの事例などで、もっと緻密にメンバー内で話し合っていることを知って「フォントとかレイアウトとかテクニックだけでやったとしても、きっと伝わらないんだな」と最初に思い知りました。

## 自分たちの芯を知るのも広報力

—団体内でインタビューして発表したそうですね

**大室** 私はスタッフ歴が浅いので、初期のころを知っている方に1時間ほど聞きました。それは自分たちの芯を知っておくのも広報力だと教わり「なるほど」と思ったからです。かなーちえは設立から18年たちますが、区内の様々な方の協力があって今に繋がっているということでした。よく耳にする「地域とともに」という言葉にはそんな重みがあったことを初めて知って納得でした。

かなーちえ(東神奈川駅前)内のひろばの様子=かなーちえ提供



## 受講後すぐ、事業に生かしました

**山本** 私はスタッフになったばかりの方に話を聞きました。子どもが好きだからというだけでなく、長い目で子育て支援を考えたい。そのためには親御さんの声をもっと聞きたいという思いを持っていることに驚かされました。また私たちスタッフのことを「各々キャラがあり、いろんな特技があって『アイドルグループ』みたいだと思っていた」と話してくれたのも印象的でした。広報のためだけでなく、自分たちの中のことについて新たな発見があったのも有意義でした。アイドルという言葉はとても新鮮だったので、ワークシートにも書き込みました。

講座内で発表する山本さん=2025年9月4日

**大室** さらには、それによって相手がどう変わっていくのか、こう変わってほしいというところまで想像していいと言われました。私は別の地域活動を例に考えたのですが「伝える相手の変化までイメージしていい。そこまでやることでチラシや発信の仕方が変わってくるんだ」という気づきがありました。

### 絵本の選択や情報、効果的に

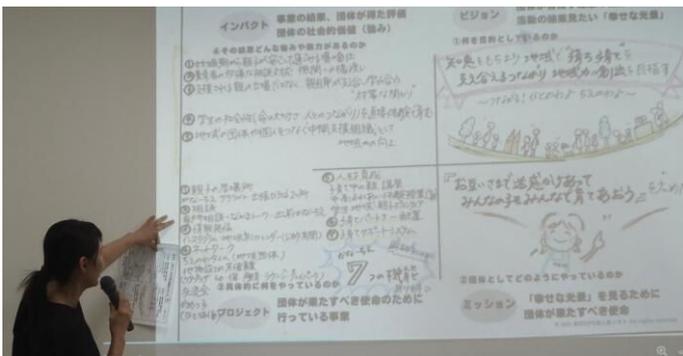
—受講後の取り組みで効果を実感したことは？

**大室** いま、ホームページのリニューアルに取り組んでいます。スマホでも見やすくしたのですが、それに加えて内容にも手を入れています。初めて閲覧に来る人のイメージを絞り込み、どういう内容が読みたいか、どういう言葉に説明が必要かなど、学んだことを生かしながら作業しています。

**山本** 出前事業でさっそく実践しました。親子で見られるように毎回絵本を持って行くのですが、来る人を細かくイメージし、合いそうな本を選んで持って行きました。保護者の求める情報も、例えば子どもを預けたいというニーズに合わせた情報を多めに用意するといったことをやりました。受講後すぐやったら確かに反応が良くなりました。苦手意識が先に来ていた広報ですが、組み立て方が整理された感じではいま考えるのがとても楽しくなりました。

**大室** 広報するには自分たちの核、芯を知っていないといけないと学んで、担当だけでなくみんなが広報できるようになっているのがベターだなと思いました。その意味でかなーちえは普段のミーティングがしっかりしていることに安心感を覚えました。今回講座で学んだ内容は、資料などをスライドにして9月末のスタッフ会で共有しました。

令和8年2月5日取材  
取材・編集 真下 聡



### 相手の変化まで想像していい

—伝える相手側の捉え方は変わりましたか

**山本** 最終回は情報や事業の届けたい相手を詳しくイメージするワークでした。私は担当している「情報と相談の出前」の事業を例に考えたのですが、年齢や住まい、働き方などの属性から、ライフスタイル、将来ビジョンなどの項目ごとに相手を想像してワークシートを埋めていきました。自分たちで事業を行う時、こんなに細かく相手側をイメージすることがなかったので、ワークをしたことで考えられるようになったと思います。